

# MEIJI MURA

明治村だより

114 2024 Summer



## CONTENTS

明治村の建築に視る日本近代青春群像物語〈十四〉  
小泉八雲避暑の家はLafcadio Hearnにとっては日本風景の、  
そして八雲にとっては世界風景の原像である。  
… 02

北里研究所本館・医学館  
常設展示リニューアル … 05

MEIJIMURA TOPICS / 夏の催しもの … 06

A La Meiji-mura 建築と美術の融和 … 07



## 明治村みらい基金

私たちの未来を豊かにする「明治」の価値  
一緒に残し、伝えていきませんか

歴史的建造物を中心とした「明治時代からの贈り物」を未来へ残し続けるためには、  
多くの資金が必要です。明治村事業へのご支援をお願いします。



### ご支援の内容

- ・ 本物の価値を残し、未来へ伝えるための展示建造物の維持・保存修理
- ・ 本物の価値を残し、未来へ伝えるための歴史資料の維持・保存修理
- ・ 未来の指針となる明治時代の価値を伝えるための展示(常設展及び企画展)
- ・ 明治時代製造の蒸気機関車及び京都市電の動態展示
- ・ 博物館明治村の事業全般

1回3,000円からご支援いただけます(マンスリーサポーターは月額1,000円から)  
公益財団法人明治村へのご寄付は一定の「税制控除対象」となります。

### ご寄付の方法

明治村みらい基金へのご寄付は、以下の方法で行うことができます。

- ・ クレジットカード
- ・ 金融機関からの振込
- ・ ゆうちょ銀行からの払込

詳しくは博物館明治村公式サイト内  
「明治村みらい基金」をご覧ください。



## 協賛会員

(令和6年6月1日現在)

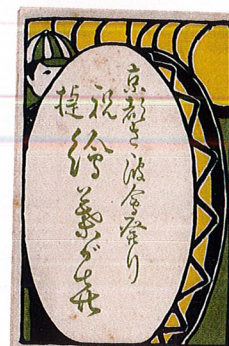
敬称略:五十音順

### ゴールド会員

名鉄都市開発株式会社 矢作建設工業株式会社

### 一般会員

- |                 |                 |                   |                     |
|-----------------|-----------------|-------------------|---------------------|
| アイカ工業株式会社       | アサヒ飲料株式会社       | アサヒビール株式会社        | 厚見建設工業株式会社          |
| 株式会社安藤・間        | 株式会社磯部組         | 株式会社伊藤園           | 伊藤忠商事株式会社           |
| 因幡電機産業株式会社      | 株式会社魚津社寺工務店     | 株式会社エイムクリエイツ      | NTT都市開発株式会社         |
| 株式会社NTTファシリティーズ | NTP名古屋トヨベツト株式会社 | 株式会社大林組           | 岡谷鋼機株式会社            |
| 株式会社オノコム        | 鹿島建設株式会社        | 株式会社関電工           | キリンパレヅ株式会社          |
| 株式会社熊谷組         | 株式会社鴻池組         | コクヨマーケティング株式会社    | 五洋建設株式会社            |
| 合資会社斉木研磨工業所     | 株式会社ザイマックス      | 佐藤工業株式会社          | サントリーコーポレートビジネス株式会社 |
| 株式会社シーイーテック     | 柴山コンサルタント株式会社   | 清水建設株式会社          | 株式会社新高土木            |
| 株式会社スペース        | スターツ東海株式会社      | 株式会社扇港電機          | ダイキン工業株式会社          |
| 大興建設株式会社        | 大成建設株式会社        | 株式会社竹中工務店         | 株式会社谷澤総合鑑定所         |
| 株式会社丹青社         | 中京テレビ放送株式会社     | 中部電力ミライズ株式会社      | 鉄建建設株式会社            |
| 株式会社東急設計コンサルタント | 東京海上日動火災保険株式会社  | 株式会社東芝            | 東洋電機製造株式会社          |
| 戸田建設株式会社        | 株式会社中島工務店       | 西日本電信電話株式会社       | 西松建設株式会社            |
| 能美防災株式会社        | 株式会社長谷工コーポレーション | 株式会社日立製作所         | 株式会社ファミリーマート        |
| 株式会社フジタ         | 株式会社不動テトラ       | ホーチキ株式会社          | 前田建設工業株式会社          |
| 三井住友海上火災保険株式会社  | 三井不動産株式会社       | 三井不動産ビルマネジメント株式会社 | 三菱商事株式会社            |
| 三菱電機株式会社        | 名高土木株式会社        | 名鉄E1エンジニア株式会社     | 名鉄エリアパートナーズ株式会社     |
| 株式会社森本組         | 株式会社ヤシマキザイ      | 若松物産株式会社          |                     |



「明治村だより」第114号(令和6年夏号) 令和6年7月18日発行

発行 博物館明治村  
〒484-0000 愛知県犬山市宇内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第115号発行のお知らせ

発行時期 令和6年9月中旬予定  
「明治村だより」は、順次Webで公開させていただきます。詳しくは博物館明治村公式サイトをご覧ください。  
※郵送サービスは終了いたしました。ご了承ください。

一 漂泊の人 Lafcadio Hearn が  
日本に帰化し  
小泉八雲となるまで

小泉八雲はラフカディオ・ハーンの名でも知られている。彼のファミリーネームである Hearn は通常の英語読みでは、確かに「ハーン」であるが、出自がアイルランドのジブシーとも、ケルトの血統であったともいわれ、本来の発音は「ヘルン」であり、自身ではその呼び名に固執していたことなので、本稿での前半は彼を「ヘルン」と呼ぶことにする。「ヘルン家の紋章である空を翔ぶ鷲（英語で Heron）を忘れないためにもヘルンにこだわったという解釈もある。後に松江で小泉セツと結婚し、正月等の儀礼で羽織袴を着るために、友人にデザインを頼み、日本風の「下げ羽の鷲」の紋章を付けたという（図1）。

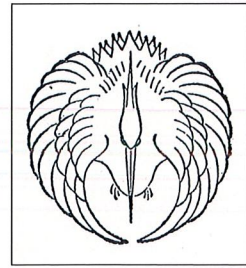


図1 「下げ羽の鷲」の紋章（野田 宇太郎「一九七四年ハーンとは俺のことかヘルン聞き」明治村通信 四八号より）

来日前のヘルンの歩みをたどると次の通りである。一八五十年に、アイルランド出身の陸軍軍医チャールズとシチリア島生まれのギリシア人ローザ・カシマチの子としてギリシアのリュカディア島に誕生したが、翌年アイルランドに帰国。五六年に父母の離婚のため、富豪であった大叔母に引きとられ、六一年〜六三年にはフランスやイギリスの神学校の転校を繰り返して、遊びで左眼を失明している。六六年には父・チャールズがスエズで死亡、六七年には大叔母の破産が原因で退学を余儀なくされ、六九

館長 中川 武

明治村の建築に視る近代青春群像物語〈十四〉

小泉八雲避暑の家は Lafcadio Hearn にとっては日本風景の、そして八雲にとっては世界風景の原像である。

年には渡米するもどんだ底生活であった。幼、青年前期は漂泊というよりも流転の人生であったといわなければならない。

勿論その後も順調というわけにはいかず、いくつもの新聞社や出版社を渡り歩き、友人と語り合っただけで新聞を発行したり、なんと「不景気」という名の飲食店を開店したが失敗に終わっている。八一年にはタイムズ・デモクラット社の文芸部長として迎えられ、この頃自著の出版も相次いだ。そしてなんと一八八六年にハーバート・スペンサーの著書に出会ったことは、その後大きな影響を与えた。八七年には「中国怪談集」を出版、この年ニューヨークに戻り、その後西インドへ二度見聞旅行し、九十年三月に「仏領西インド諸島の二年間」を出版した。これが好評を得て、ハーバー社の依頼で訪日の旅に出たのが同年三月五日。四月四日には横浜に着き、六月には契約のもつれで、ハーバー社と袂を分かつている。世界の隅々で辛酸を嘗めてきたであろうヘルンらしい激しく、痛々しい振舞いといえそうである。

他方で、「小泉八雲といえば松江」と前世からの固い契りのようなイメージさえ浮かびそうだが、たまたま知人の伝手で、島根県尋常中学校および尋常師範学校の英語の講師の



焼津八雲散策マップ（「焼津小泉八雲記念館」提供）

職を紹介され、八月三十日に松江に着き、九月から教壇に立つことになったが、翌九一（明治二四）年十一月には熊本第五高等学校に転任している。このわずか一年二月の松江滞在はヘルンにとって何であったのだろうか。第一に、旧松江藩士小泉湊の娘セツと、松江中学の同僚の紹介により九六年二月に結婚している。この経緯についてはあまり紹介されていないが、セツが武家の出身であったこと、また松江でのヘルンの住まいが、簡素ではあるが棟門構えの旧武家住宅であったことが関係

するのであろう。生活環境や人々の振舞いの中に江戸期以来の伝統を、ごく自然の佇まいとして保存されていたことが推測され、それらが湧き出る泉のように、ヘルンの胸に浸透していったに違いない。とりわけ、ヘルンとセツの間に交わされたセツの書簡が、二人の関係がどのようなものであったのかを窺わせる。セツはヘルンの話す日本語のニュアンスそのままを生かしていたと考えられる。後に、セツから焼津にいるヘルンに送った一九〇四年八月十八日付の手紙（現在の山口家に保存されている）である。

（略）ババサマ、アナタ、シンセツ、ママニ、マイニチ、カワイノ、テガミ、ヤリマス。ナンボ、ヨロコブ、イフ、ムツカシイ、デス。（略）

ヘルンが生まれた年は、黒船来航の三年前である。彼の個人的事情もあつただろうが、幼少期を過ごした英仏は別に、本当に苦勞した多感な年頃に、アメリカ合衆国もまた欧米列強国の植民地争奪戦に進出しようとする時代であった。出自がアイルランドであったことも無関係ではなかっただろうが、進歩思想には乗り切れなかったことは否めないだろう。秘かに古き良きものを求め続けていたことは間違いないだろう。それは偶然であつただろうが、ヘルンが我知らず求め続けていた古き良きものを、詠じたかのようにさりげなく備え保存していた松江に出会つたのである。その象徴が妻セツであり、求めていたものがこの手紙の文面に表現されていたのではなかったか。十九世紀後半の世界情勢、ヘルンという稀有な人生、奇跡のように取り残されてそこにあつた凜とした松江とセツの存在。どれか一つでも欠けたら小泉八雲は生まれなかつたであらう。

二 焼津の漁商 ヤマグチオトキチサーマの家には神様が住む

小泉八雲避暑の家の見どころは、一見して気付くところであるが、左隣の石川啄木が一時期にせよ唯一自分の家族全員で寄宿した店舗付二階建の「本郷喜之床」と比べて、随分建物の高さが異なることである（写真3）。これは建築年代の新旧による。小泉八雲避暑の家が明治初年

頃、本郷喜之床が明治末年である。江戸期の町屋は、二階建は家作制限のため認められず、法を逃れるためにつくった部屋は居住のためではなく物置きで、天井も低く、採光用の開口部も限定したことの影響が、明治初年頃にはまだ残り、明治末年頃になると、居住性が優先されて天井も十分になったからである。小泉八雲避暑の家は、特に二階の天井高は低いままであるが写真2、軒先から部屋の内への空間の連続性を確保するために、折れた天井となつている（写真3、図4）。これは漁師町にあつたこの家の環境から発想された大型の舟底天井の見立てを予感させる自由なデザインともいえる。

される控えの間があり、それに続く床の間付きの主室が併存していることである（図3）。通常、畳敷きの日本住宅の空間は、床の間付きの座敷を中心に、表から奥へと序列をつくって連続させるが、この二階の居住スペースは、階段を登った唯一の上り口から、表側と裏側へ振り分けられている。毎年のように、夏の一ヶ月内外の間、八雲と男の子二人、書生を含めた四人が先乗りで訪れ、帰る間際にセツと小さな女の子と女中の三人が合流し、八雲一家計七人がこの一連の舟底天井が続く畳の部屋に暮らしていたことになる。八雲一家が毎年二階を使うようになってから、男性陣と女性陣を分けるために改装したのかもしれない。

もう一つは、前面の浜通りと裏の路地に狭ま



写真1



写真2

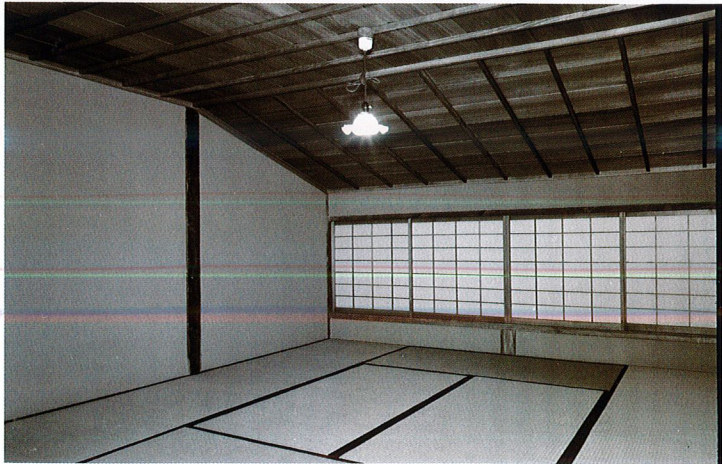


写真3

れた町屋特有の通り土間である(写真5)。漁師町の商いと町のにぎわいがその住宅の形式と住まい方の様式にあらわれている。江戸期の町屋であれば、この通り土間は吹き抜けで、土間の上部の小屋組は露出しているが、低いとはいえない二階を居住スペースとしたため土間にも天井を設けざるをえない。そのため通り土間の入り口近くに高風吹き窓が設置されている(写真5)。町屋で珍しいしつらいであるが、この家をどれほど見ていても、何故八雲はこの家をあれほど気に入ったのか、にわかには納得できないかもしれない。彼は、深く、澄んだ海で泳ぐのが好きだった。漁師の深く、つよく、やさしい知恵、子供を育む地蔵まつり等々も決定事項としてはありきたり過ぎるかもしれない。

まなか。妻セツを窓口にして立ち入ることができた、古き日本の奥にあるものは、唯一自らの漂泊の涯に残された、生の奥底にある不思議さと美しさの琴線に触れるものではあつた。しかし、それは偶然に、あるいは隔絶されてあるものである。この認識がボヘミアンそのものであつた八雲には耐えられなかったものかもしれない。彼は十九世紀後半からの植民地主義と民主主義的な活力にあふれるアメリカ

力を嫌った。その二つを両刃の刃と見ていたのかもしれない。彼が松江を一年と少しで去つたのは、ただ生活と寒さのためであつたのだろうか。熊本と東京帝国大学で官僚主義を見ていた。松江の古き良き美の底に、明治の排外主義に繋がる何かを感じ取つたのではなかったか。焼津の町と普通の人々の生活の中には、日本の古き良きものが伝統形式としてではなく、人々のその日その日の生きる活力として生きてい

た。伝統と美は手段ではなく目的だった。あかるく、賢く、解放されたオトキチサーマに神様を見た八雲にとつて、それは日本を超えた世界になったのかもしれない。

註  
小泉八雲避暑の家は、八雲が東京へ移つた翌年から夏の間過ごすようになる焼津の魚屋山口乙吉の家である。八雲は乙吉を「神様のような人」と語り、「オトキチサーマ」と親しく呼んでいた。



写真4

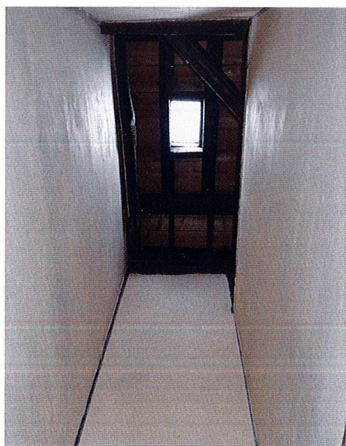


写真5

### 「小泉八雲避暑の家」

図2 1階平面図

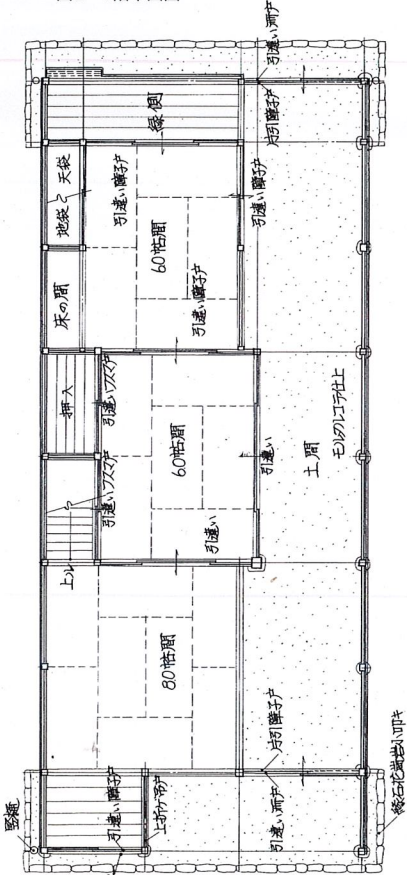


図3 2階平面図

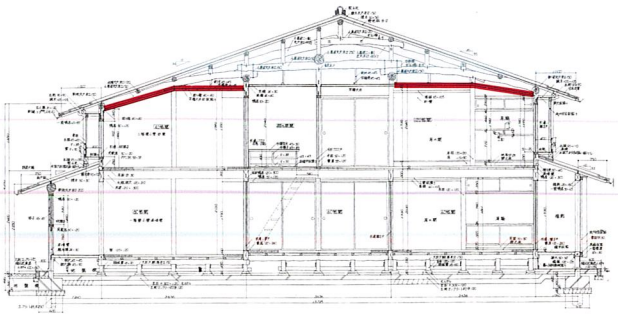
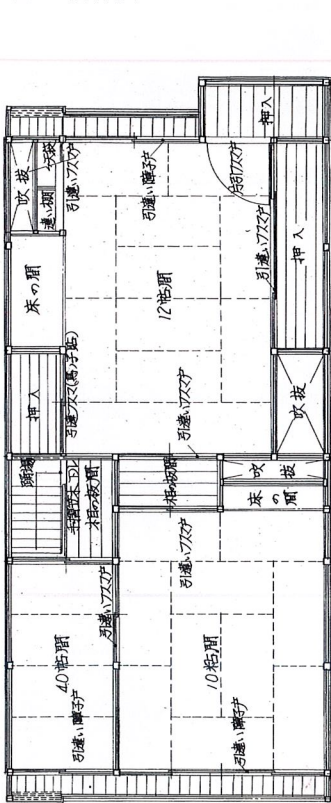


図4 縦断面図

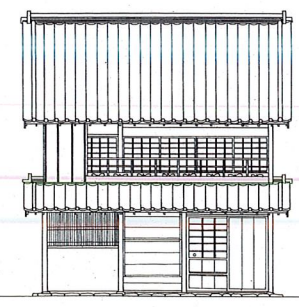


図5 立面図

5月11日(土)オープン

# 北里研究所本館・医学館 常設展示リニューアル



今年二〇二四年七月三日に紙幣が改刷され、新しい千円札の肖像には、「細菌学の父」として知られる北里柴三郎が採用されたことを記念し、北里研究所本館・医学館内の常設展示をリニューアルいたしました。

この度のリニューアルでは、これまでの北里柴三郎の顕彰に加え、①移築の経緯、建物の特徴 ②細菌学研究を支えた北里柴三郎が生きた時代の国内外の顕微鏡 ③日本における感染症の歴史、の主に三つを展示の構成に加えました。今回の誌面ではこの三つの視点についてお伝えいたします。

## ① 移築の経緯、建物の特徴

この建物(以下、本館とする)の移築が決まったのは一九七九年夏で、翌年十月に竣工、明治村で公開を開始しました。北里研究所開所以来、シンボリック存在だった本館を移築してでも後世に残したいという北里研究所の皆さんの想いが実を結び、人々が感染症と闘ってきた軌跡を伝え続けています。

建物の特徴については破風のドイツ風の意匠が目立ちますが、最大の特徴は「北面に部屋(研究室)を配置」している点です。北側の柔らかい光線と白い壁で室内を明るくすることにより顕微鏡を用いた研究に適した環境となつていのです。

## ② 細菌学研究を支えた北里柴三郎が生きた時代の国内外の顕微鏡

顕微鏡は「ものが大きく見える」という発見から、「目には見えないものを見たい」という人々の探求心のもと、性能を追求してきました。そうした顕微鏡の進化の中で現れたのが、北里が師事したR・コッホら細菌学者たちでした。今回は、顕微鏡の歴史的な位置づけとともに、北里が生きた同時代の顕微鏡を展示し

ています。そして、展示室に実際に顕微鏡を覗いていただけのコーナーを設けました。また二階では、実際に北側の窓下に設置し、北里が行った環境での顕微鏡観察をご体験いただけます(写真1)。



写真1

## ③ 日本における感染症の歴史

感染症の克服を目指した北里や北里研究所をより深く知るため、彼らが直面した感染症や感染症がもたらした社会の変化をご紹介します(写真2)。

病気の原因が細菌やウイルスだと判明する以前は、目には見えない病気の原因を、人々は神罰や怨恨、国政の不調のせいなどと理解し、加持祈禱やまじないでただただ症状が治まるのを待つしかありません

でした。そうした人々の病への認識が転換したのが、幕末から明治期です。開国し外国との交流や交通網の発達により、これまで経験したことのないコレラを筆頭とした感染症が爆発的に流行しました。過酷な病状から人々を救うべく、西洋の「衛生」意識を取り入れ、環境改善や海港検疫を行い、国を挙げて感染症の「克服」に取り組みます。とりわけ、衛生環境を向上させるべく下水道の敷設を明治期に開始したことは感染の抑圧に大役を果たしました。

コロナ禍を体験した現代の私達だからこそ、当時の感染症対策や社会的な影響をより身近な現象として感じていただけるのではないのでしょうか。感染症の歴史を振り返ると、驚くほどに私達がコロナ禍で経験したことに身に覚えがあり、歴史は地続きなのだと思えて感じます。コロナウイルスが変異し続けたように、今後も新たな感染症は起こり続けます。今回の展示が過去のものとしてではなく、感染症や今後の対策について考える場となれば幸いです。

## 謝辞

今回の展示は、公益財団法人森村豊明会の助成を受け、そして公益財団法人結核予防会、学校法人北里研究所のご協力のもとリニューアルいたしました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

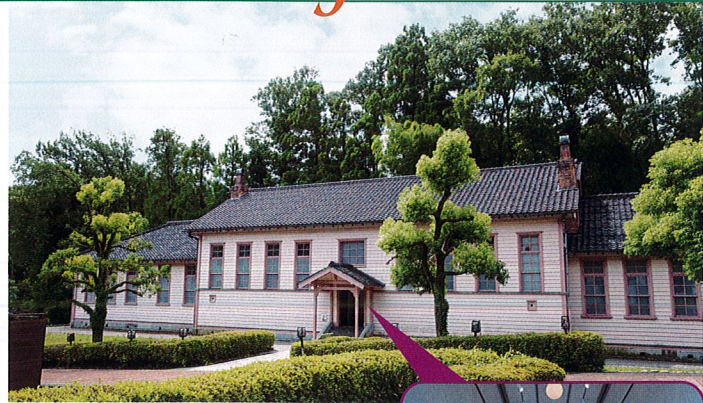


写真2

北里研究所本館・医学館

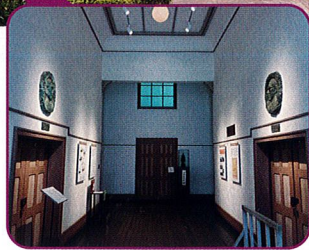


写真1 菊池一雄「谷口吉郎」「土川元夫」レリーフ  
博物館明治村蔵



## 建築と 美術の融和

2丁目15番地  
第四高等学校物理化学教室



選し、以後彫刻家として活動します。戦後具象彫刻を代表する一人である菊池と、建築家である谷口の接点は、おそらく両氏が活動の舞台の一つとした、美術団体「新制作派協会」だと思われまます。

新制作派協会（現在は新制作協会に改称）は、反アカデミック精神を掲げ、洋画家の猪熊弦一郎を中心に設立された美術団体です。菊池は昭和二三年の新制作派協会展に《青年》像（写真2）を出品し、高い評価を受けます。その翌年、新制作派協会に建築部が設けられ、そこに谷口が参加していることから、この前後に二人が知り合ったと考えられます。

第四高等学校物理化学教室の正面入口入ってすぐ、左右壁面上部に、二つのブロンズ製レリーフ（浮き彫り彫刻）が飾られています（写真1）。

これは、第四高等学校出身で、明治村の設立に大きく寄与した建築家・谷口吉郎と、名古屋鉄道株式会社元会長の土川元夫の業績を讃えるため、彫刻家・菊池一雄の手によって、昭和五七（一九八二）年に制作された作品です。今回は菊池一雄と、谷口吉郎の関係についてご紹介しましょう。

菊池一雄は明治四一（一九〇八）年京都市生まれ。フランスでロダンに学んだ彫刻家・藤川勇造に師事。東京大学文学部在学中に二科展に入



写真2 菊池一雄《青年》京都市美術館蔵  
©Keiko Kikuchi2024/JAA2400102

註一 『芸術新潮』4月号（「谷口吉郎著作集」第3巻 1981年 淡文社）

参考文献  
菊池一雄 1976年『菊池一雄』現代彫刻センター  
東京国立近代美術館/三重県立美術館/宮城県美術館  
2007年『日本近代の彫刻』淡文社

建築部創立と同じ年、谷口が設計した慶應義塾大学四号館が竣工します。その建物から庭園へ向かう部分には、谷口の強い希望により、新制作派協会展に出品された菊池の《青年》像が設置されました。これについて谷口は

私はこの「学生ホール」の隣の校舎を設計した時に、菊池一雄氏の「青年」像を学窓のそば近くに配置し、その周囲に庭を設計したのであった。それでこんどは学生ホールの室内に「壁画」「庭園」「建築」の融合によって「彫刻」「絵画」「庭園」「建築」の融合を願望したのである。そして、それを学生の生活にふさわしい、明るく美しいものにしたかった。（註二）

と述べています。九谷焼の窯元の家に生まれた谷口には、美術についての著述も多く、近代における建築と美術の乖離を嘆いていましたが、この四号館では、建築と美術の融和を図っていたことが窺えます。

ここで再度、第四高のレリーフを見ましましょう。昭和六十年に亡くなる菊池にとって、これは晩年の作にあたりまます。《青年》像に見られるような、憂いと緊張感を持った造形とは異なり、親密さと温かさが感じられる肉付けがされています。さらに注目すべきは、このレリーフという形態です。レリーフは、建築を装飾するものとして、西欧で発展してきました。まさに建築と美術が一体となっていた時代の象徴とも言えるでしょう。建築と美術の融和、明治建築の保存を訴えた谷口の像を製作するにあたり、レリーフという形態を選んだことは、非常に意味のあることだと言えます。

慶應義塾大学四号館竣工後も、度々仕事上の関わりを持っていた二人。菊池のご遺族によると、世田谷にある菊池のアトリエ兼自宅を谷口が訪れ、二人で夜通し九谷焼の話などしていたといわれています。広く芸術を愛するもの同士、通じ合う部分が多かったのではないのでしょうか。

3/26 「バイオリン修復記念  
明治建築に響くバイオリンの音色を  
5丁目「聖ザビエル天主堂」にて開催

館蔵資料「鈴木バイオリン」の修復完了を記念しバイオリニスト・石田泰尚氏をお迎えし、阿川佐和子村長、中川武館長によるトークと、石田氏、ピアニスト・岡本知也氏による演奏をお楽しみいただきました。



3/30 「明治村ファン集会」を開催

明治村をこよなく愛する10名の方と明治村スタッフで意見交換を行いました。明治村に対する熱い想いをお聞きすることができ、今後の運営の参考となりました。

7/28まで 企画展「乱歩・人間模様」を  
4丁目「宇治山田郵便局舎」  
展示室にて開催中

江戸川乱歩筆の手紙や岩田準一氏の挿絵原画などを展示したほか、金城学院大学文学部小松ゼミ生による登場人物の解説、明治村スタッフによるイラストをパネルで掲出しています。

4/12,13 「第56回明治村茶会」を開催

今回の席主は、坐漁荘・楽庵席（濃茶）を大徳寺孤蓬庵様に、学習院長官舎席（薄茶）と聖ヨハネ教会堂席（立礼）を山田宗徧様にご担当いただき、趣向を凝らした茶席を設け、普段の建物とは異なる雰囲気をお楽しみいただきました。

5/17 累計入村者数  
5,000万人到達

ご入村者5,000万人目のお客さまを正門にてお迎えし、中川館長より記念品と目録の贈呈を行いました。



5/11 「北里研究所本館・医学館」常設展示  
リニューアルオープンセレモニー開催

ご来賓に学校法人北里研究所理事長特命補佐・北里柴三郎記念博物館館長の朝日田卓氏、公益財団法人結核予防会理事・事業部長の小林典子氏をお迎えし、建物前にてテープカットを行いました。ご来場の方には先着順でオリジナル記念ブックマークを配布しました。



5/16 トークセッション「感染症との闘い  
これまで、そしてこれから」を開催

新型コロナウイルス感染症対策分科会会長等を歴任した結核予防会理事長・尾身茂氏をゲストに、北里柴三郎についてやコロナ対策、感染症との今後の向き合い方について阿川村長、中川館長とともに語っていただきました。

## 宵の明治村

浴衣なら  
入村料が  
半額！  
※宵の明治村  
開村日のみ

8/10(土)~18(日)、24(土)・25(日)、31(土)・9/1(日)  
20:30まで延長開村！  
※入村は20:00まで。  
※一部エリアは17:00まで。  
※荒天時は延長開村中止の場合があります。

### 野外ステージショー

※雨天中止

時間 ①18:30~②19:30~  
会場 帝国ホテル中央玄関前芝生広場特設ステージ

#### JAZZ SURVIVOR

大人からお子様まで楽しめるJAZZライブをお届けします。  
※ホールは開催日により異なります。



#### 和太鼓楽SHIN

和太鼓と篠笛とエレクトーンが融合した、伝統と創造が織りなす「和のアート」をお楽しみください。



#### 大治太鼓 尾張一座

尾張地方に伝わる神楽太鼓をルーツにもつ和太鼓集団。曲芸性、創作性の高い優雅かつ斬新な演奏をご体感ください。



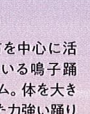
#### 琉球国祭り太鼓

沖縄の伝統芸能エイサーに空手の型を取り入れた独自の振付けと、ダイナミックなパチさばきをご覧ください。



#### 笑

犬山市を中心に活動している鳴子踊りチーム。体を大きく使った力強い踊りをご堪能ください。



#### 明治偉人隊

明治の偉人たちによる歌と踊りのステージショーをお楽しみください。



### 花火競演

※荒天中止

ライトアップされた歴史的建造物と、間近で見られる鮮やかな花火との競演をお楽しみください。  
時間 20:00~  
会場 帝国ホテル中央玄関前芝生広場付近

### 明治時代の病院で何が… 見る・看る、視える!? ガイドツアー

夕暮れの病院に一步足を踏み入れると、いつもとは違った姿がみえる!?

時間 ①18:30~②19:00~  
③19:30~(各回約20分)

定員 各回10名様

※16:00より会場にて整理券を配布します。

会場 日本赤十字社中央病院病棟



### 企画展 江藤新平没後150年 明治時代の裁判所をのぞいてみよう

明治時代の裁判を、現代と比較しながらご紹介します。特別ガイドでは、法廷内部に入り、法服(複製)を試着できます。

会場 宮津裁判所法廷 展示期間 7/20(土)~9/8(日) ※休館日を除く

開催日 8/24(土)・25(日)、31(土)・9/1(日)

時間 ①14:00~②14:40~③15:20~④16:00~⑤16:40~  
(各回約20分)

定員 各回10名様

